

茶売節 泊阿嘉第五幕

一二揚

四	中	工	五	中	五	工	五	中	上	四	五
											わ

工	中	工	五	中	上	四	五	四	老	四	五
じ	か	み	ち	ち	ど	う	や			し	

中	七	四	五	中	工	五	七	五	七	五	中
が			ちゆ	とう	ん	は	ん	に	ん	ん	

五	七	五	七	工	五	中	上	四	五	四	五
	な	ゆ	る	ぐ	と	う	さ	まじ		ちゆ	ぬ

中	五	工	中	工	五	工	中	工	五	工	上
く	く	る	や						い		

四											
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

一、僅か三月どやすが 一年も半年も
なゆるごとうさ まず人の心や

二、伊平屋島の勤め すまちはるばると
戻る嬉しさや 何にもたとらぬ

三、泊港に 船や着きたい 恋し前道
通て 久茂地かい 足早めて